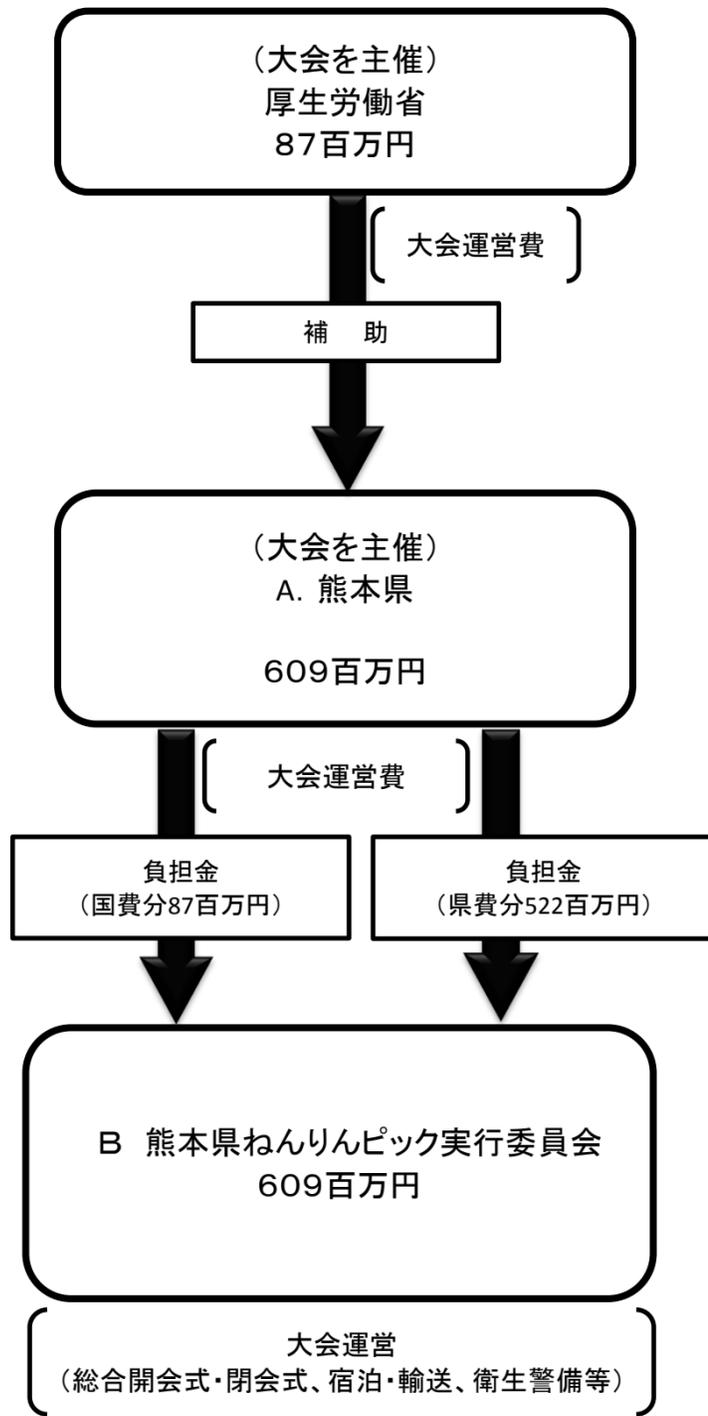


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	全国健康福祉祭事業費	担当部局庁	老健局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和63年度～	担当課室	振興課	振興課長 川又竹男				
会計区分	一般会計	施策名	IV-5-2 高齢者の介護予防・健康づくりを推進し、生きがいがづくり及び社会参加を推進する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	全国健康福祉祭開催要綱 (昭和62年10月17日厚生省発政第22号)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は、全国健康福祉祭の実施を支援することにより、健康及び福祉に関する積極的かつ総合的な普及啓発活動の展開を通じ、高齢者を中心とする国民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国健康福祉祭開催地都道府県が行う、以下の全国健康福祉祭及びこれに関連する事業に要する経費を対象として助成する。 ①健康関連イベント(スポーツ交流大会、健康づくり教室、新しいスポーツの紹介、健康フェア等) ②福祉・生きがい関連イベント(美術展、囲碁大会、将棋大会、俳句大会、地域文化伝承館等) ③健康、福祉・生きがい関連イベント(シンポジウム、健康福祉機器展等)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	70	88	87	206	107	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	70	88	87	206	107	
	執行額	70	88	87				
執行率(%)	100	100	100					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	全国健康福祉祭事業 参加選手等(観客を含む)		成果実績	人	538,900	536,533	555,200	479170
			達成度	%	112%	112%	116%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	スポーツ交流大会、ふれあいスポーツ大会、文化交流大会及び共通イベント等数		活動実績 (当初見込み)	種目	32	36	33	—
					(36)	(33)	(28)	
単位当たりコスト	①参加者数一人あたりのコスト(157円/人) ②種目1つあたりのコスト(264万円/種目)		算出根拠	平成23年度 87,000,000円 ÷ 555,200人 = 157円/人 87,000,000円 ÷ 33種目 = 264万円/種目				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	補助金	206	107	平成24年度限りの経費の減のため				
	計	206	107					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	今年の大会で25回目を数え、年1回のイベントとして定着している。主催者は開催都道府県・政令市のほか、(財)長寿社会開発センター及び国の3者で実施している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	国は主催者の1つである
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	例年、開催都道府県等で構成される実行委員会が運営を行っており、地方公共団体と同等のコスト削減や合理的な支出が行われている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	大会の開催費用に限定している
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	昨年度開催されたくまもと大会においては参加者が55万人を超えるなど、例年、50万人を超える参加者が集まる実効性の高い手段である。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	昨年の第24回くまもと大会までに参加者数が延べ1,103万人となっており、例年、50万人を超える選手・観客が集まるなど、高齢者の健康づくり・生きがいづくりのためのイベントとして効果の高いものである。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	見込みどおりの実績である
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	大会報告書、記録映像等を作成、後催県にも情報提供している
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業開始前に事業計画において事業内容、経費の支出予定などを確認し、交付決定を行っており、国庫補助金の精算に当たっては、実績報告書により、事業実施状況、支出内容・額などについて確認している。 ・今後も予算の執行状況を踏まえつつ、適正な執行及び予算額の確保を図る。 		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業については、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	529	平成23年行政事業レビュー	482



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.熊本県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
負担金	実行委員会への負担金	609			
計		609	計		0
B.熊本県ねんりんピック実行委員会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
負担金	大会の開催経費	609			
計		609	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	熊本県	大会運営経費の負担	609		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	熊本県ねんりんピック 実行委員会	大会運営(総合開会式・閉会式、宿泊・輸送、衛生警備等)	609		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					